

NOTE BOOK

社會政策 特殊研究

服部文男

SN

香
泉

獨逸社會民主主義社會政策論の崩壊過程

服部 英吉郎

§ 1. 經濟民主主義理論と社會民主主義社會政策論

§ 1. 戦後獨逸に於ける社會化論争は、その帰結として、社會民主主義の社會主義的理論の空虚と立証せねばならなかつた。

資本主義安定の最初の時期に於て、曾ての社會化に代つて現はれたる經濟民主主義にほかならぬ。

これは、いはゆる社會政策の社會主義的理論に固有の二面性と具へることによつて、資本主義の現実の展開過程に対応して社會民主主義の具体的な社會政策理論の遂げたる凡ゆる變化に拘り、行方不明と化したの存続と固執することからきた。

§ 2. 經濟民主主義の行方不明の成立は、資本主義發展の新態の一定の段階と結合せられたるが、具体的なことは、戦後安定期の獨逸資本主義の發展段階に對する社會民主主義の認識に俟つてある。即ち、いはゆる「組織された資本主義」の理論構想に基いて行方不明にほかならぬ。

獨逸資本主義安定への転回期の初頭、即ち 1924 年。

SPD = Sozialdemokratische Partei Deutschlands

ADGB = Allgemeiner Deutscher Gewerkschaftsbund

Hilferding

○ 一の組織された、然し敵対的な形態に於て、階層的に組織された經濟。

§ 3 ○ 前代の組織されない資本主義の傳統の対立の新しい基礎。

○ 民主的に組織された經濟。

[階層的に組織された経済]

8.3. ① 少数者による支配の力の目的の為にされる経済の意識の社会的規制.

✓ [民主的に組織された経済]

② 生産者・大衆による統制.

社会民主主義の認識は、経済民主主義のイデオロギーの下の地位は競争の資本主義が組織された独占資本主義に移り、即ち競争の原理が計画的生産の規制、及び組織的な市場支配の原理に道を中つたところに置かれてある。

8.4. 組織された資本主義 = 経済民主主義への転化、
高度資本主義階級に共通な国家資本主義的要素と傾向の発展。

Weimarer Verfassung §156.

全口石炭協議会
全口加理協議会

8.5. 社会国家と経済国家との諸機能のうち、即ち国家資本主義的諸傾向のうち、社会民主主義の理論構想は、民主制国家機関の経済生活の領域への影響の拡大を見よとするのである。

1918. 11/15 Zentralarbeitsgemeinschaft

1919. Nürnberg 大会

1922. Leipzig 大会

1925. Breslau 大会

“経済と労働組合”
経済民主主義

労働協同体

8.6. Arbeitsgemeinschaft の理論と実践とは、完全な反社会主義的及び社会化的傾向。

- 経済民主制は、① 資本主義のうちに在りて可能であるか、
② 否の付代は社会主義的社会秩序への交替を俟つて始り到来するか、

① 経済民主制を現在の問題とし、就中 Weimar 憲法に於ける資本主義的経済の指導の機関への労働者階級のいはゆる同様の参加の原理による協議會体制の完成を以て経済民主主義と解するもの。

Th. Leipart,
H. Jäckel
R. Schmidt
L. Erdmann.

② 之を将来の問題に属するものとし、Weimar 憲法によるこの体制も所詮政治的民主制の模範に止まると見るもの。

Paul Herberg,
G. Decker.

Ellinger.

8.7. ... 論争解消の途は エリッガーの「経済の民主化」と「経済民主制」との概念區別に求められ、

... 経済民主制は 経済民主化の発展過程の結局としてのみ産出される
といふ Stürg の見解を以て討論の経緯とされた。

此の區別は、實際に於ては、社会主義的目標の完全なる放棄以外の何ものも意味しないといふ批判を免れぬであらう。それゆゑ、社会主義的目標はあらゆる特殊な標徴を奪はれ既に独占資本主義のうちに消滅せざる限り、発展の単なる理論の究極点となつてゐるのである。

8.7. "Wirtschaftsdemokratie, Ihr Wesen, Weg und Ziel" hrg. im Auftrage d. ADGB, von Fritz Naphtali

この独逸社会民主主義の「新」なる Erfurt 綱領も亦、遂に一度も階級闘争に言及しなかつたのである。

「経済の民主化は社会主義に導く。」

「経済の民主化は資本所有を基礎とする支配の漸次的な克服と経済の指導的機関の資本主義的利益の機関から 経済的利益の機関 への転化を意味する。」

→ 市民的国家 (8.9.3.5)

8.8. 経済民主主義は、^① 行方不明として、経済民主制、即ち社会主義の生成と脱くと共に、^② 其の客観的内容としては、資本主義の組織された形態のより高次の発展、即ち独逸資本主義の国家資本主義の要素の発展を助成するものと見て、社会民主主義社会政策理論の二面性を有する課題を果さうとする。

8.9. 経済民主制とは、独占的国家資本主義の機構が社会民主主義の指導のもとに置かれる状態を意味する。

8.10. 高度独占資本主義の段階に於ては、経済の国家化過程があるのみではなく、国家の経済化過程が存在する。

この両過程は、国家と経済との相互貫徹の強度を高める。

かくして現在では、立憲的文化的自由国家に於けるのは異つて、社会政策、経済政策及び国家政策は交互浸透して區別がつかない。

従つて経済民主主義の理論構想は、かかる交互浸透の行方不明の反映たる性格を有つたものであることを知らねばならぬ。

8.10 経済政策と社会政策との論問題。実践の ^{に益々相} 融合すると

8.11. 経済民主主義の公認理論は、社会政策と経済政策との交互浸透の理論構造を有つて其に組織された独占資本主義の国家と経済との相互貫徹の過程に於ける民主制国家と、この過程に對する地位に於て新なる職能を見出した労働組合の決定的重要性を認めるのである。

民主制は、協同体の觀念を前提とする。我々が国家を考へることなくして政治的民主制を觀念し得るは、国家が一つの協同体であるからである。

協同体としての民主制国家は、それ自ら、かかる経済の協同体の前段階にあるものである。この経済協同体の前段階たる民主制国家の機能は、組織された資本主義は、経済独裁制への道を歩む。

8.13. 組織された資本主義の段階に於て国家の力は社会政策と理論化の必要、

政治的両極

政治的債銀規制、政治的時間規制、

(Mifflending)

Mifflending の予へてこれらの定式は言葉が独逸雇主組合聯盟の理事長ブラウツライプによつて其に其鳴せられ、暗示は富み興味あるものとして報告せられたることを看過すべきではない。

8.15. 1917 Rumer

1927. Mifflending

8.16. "社会国家"は労働者の側から見て、最高の肯定に面する。

8.16. Braunthal.

資本主義国家の社会政策による労働関係への干渉、

8.17. 債銀はもはや資本主義の市場の原則に逆ひ需給の動き、市場の両者争奪の闘争に依る弾力性としての費用要素ではなく、一つの経済外の力に於て確定せられるに到つて、

Tugan-Baranowsky, Michael von. 2010 賃銀及び利潤、高小、労働者階級、資本家階級の勢力、大小=依存性。

Machttheorie (勢力説).

8.17. 社会民主主義の公的理論は、政治的賃銀を理論化せんがためは、Tugan-Baranowsky, Oppenheimer ヴァン・バラノフスキー、オッペンハイマーらに支援を求め、労働者階級説とす。

労働組合の機能の転化に関する理論の構想。

(賃銀形成の法則の止揚は、賃銀をめぐる労働組合の伝統的本来的機能を無用ならしめる。

8.18. 社会民主主義社会政策理論に於ける賃銀形成法則の社会政策的施設による止揚のつとを構想は、かくしてこれ自ら二面の役割を果す。社会民主主義労働組合の行政機構化の傾向。

乍ら社会民主主義社会政策理論の公的見地はまた強制調停者としての国家が経済の諸関係の拘束からは、完全に解放せられ得ないことを明白にせねばならぬ。国家は既に、労働者階級の社会的利益の観点に於て、賃銀の決定に一定の制限の存することをみとめる。この一定の制限とは、生産性の最高可能の発展を妨げないといふこと以外ならぬ。

社会政策は再び当然なる経済政策との関聯に帰らねばならぬ。

8.19. 国家化過程の進展が躍進的となると共に、経済の危険、即ち経済の生産力を減退せしめるといふ危険は益々重大となる。

8.20. 社会民主主義の社会政策理論の持つ基本的制約
具体的には、資本の側の情勢の推移に適応し、或は合理化の促進が、或は「資本の形成」が、或は恐慌からの血路が、社会政策の機能の根本的制約となることを理論化するに外ならぬ。

(8.26)

8.20. 社会民主主義社会政策理論に於ける 分配政策より生産政策への推移、
転化。

①共同決定権

「階級闘争は経営と行政とから會議室に移された」

8.21. 社会民主主義のイデオロギーは、産業平和の労働協約の社会政策的施設に於ける共同決定権の実現を以て満足しない、之を以て経済民主制の直接的な段階と見做らるべき。これらのイデオロギーの最も必要とするのは労働者階級が経済の指導に直接編入せられるといふことである。

8.9. 直接的な経済指導の領域に於ける共同決定権の実現。

8.22. 自己管理の概念には、経済的利益の代表者としての民主制門家の主権が、直接的に結合せられてゐる。

経済民主主義のイデオロギーの本質は是れ、即ち共同決定権は、その最高の表現形態の機能に於て、また国家の補正を求めねばならぬ。

共同決定権は、社会政策的諸施設による間接的な経済指導に於て、又既存の並に将来の直接的経済指導に於て、共にその担い手、労働組合に現出するといふべきでない。

8.23. Karl Young の労働組合理論。

8.24. 労働組合に於ける民主制の完全なる実現がいまや偉大なる中心的目标となつた。之に對して、労働収益の分配の諸原理の問題、賃銀問題が後退する。

8.25. "労働基準が労働者の利益を害せぬといふわけでは最早充分ではない。
それは同時に最大の生産性を保証するものでなければならぬ。"
(Karl Rinner)

労働組合は、共同決定権による経済民主化の機関となるべきであり、
生産性増進とこの課題とする。
(資本主義的生産性増進)

8.26. "労働組合は単なる社会政策の諸機関たることを止揚し、民主主義の
生産政策の担い手となる。" (Nilferding)

8.2. 独逸資本主義安定への転回期の初頭、即ち1924年。

第一次大戦の安定期の始りは1925年。
この1925年に始まった相対的安定期が2年ついで
1931年から次の動揺が起つた。
1929年 世界恐慌。

8.26. Nilferdingのより率直な後の言葉によれば
"問題となるのは、いかんにか、既に組織されている資本主義とは、その
階層的な形態から民主的な形態に移すことである。然るにこの課題の
ためには、貧弱な類産した資本主義ではなくて、一個の力に溢れた資本主義
を必要とする。なぜならば、遺産が出来るだけ豊富であることは、相続者
にとつては極めて快楽であるから。" と云ふのである。

§7. 合理化過程と社会民主主義社会政策論

8.33. Heidelberg 黨綱領。

8.34. Kampfmeier.

"階級のない社会主義社会と生産の高度の発展との間の関係と
根本的の解明することは、Marxismusの「史的行動」である。
これに生産は19C.に於て既に歴史的発展を遂げ、これは
社会主義の社会の建設を可能ならしめたといふ假設は誤謬の
ある。この意味に於て1921年のGörlitz 綱領は、その
「宣言」以来傳統的に用いられて来た市民的社会はすでに
その生産諸力の富裕とに圧殺せられてゐるといふ古い命題を
削除したのであり、また新綱領草案がその経済政策の部
内に於て「工業及び農業に於ける生産増大の促進」を要
求してゐるのは、一つの決定的な進歩である。乍ら新綱領
草案は更に一歩を進り、生産性増進の思想とその理論的
部分の併合すべきである。"

8.36. ARGBのみならず SPD への、生産政策への転向。

Heidelberg 綱領の原理の部分からは周知のKarl Erfurt 綱領の
窮乏化に關する命題は跡方なく抹殺せられた。
これに代つて、生産性増進の必要の問題は、次のとおりとせしめ、独自の
には論じられてゐないとして、その思想はすでに建設的社會主義
の必要と理論的拘束の下に十分に採択せられたといふこと。

8.37. Kautsky
“資本主義的生産方法の繁栄に於て、資本主義的支配に代る
社会主義的支配の見込は益々良好となる。
労働者階級の経済的見解が廣くなり、経済内に於ける民主制が
大きくなると共に、生産に於ける社会主義的価値はより容易に
達成せられる。”

8.38. Heinrich Peus: Sozialistischer Geist.
“社会主義、ない批判は正しくまた建設的な社会主義のみが
我々を救うる。”

Adolf Weber.
“収益の分配に於ける利害の差異を強調し、
収益の創造に於ける利害の協同性を忘却することにはつて、
経済の基礎の破壊に及ぶ” 爲める “分配政策”

8.39. 独逸資本主義の「史の前提」のその内における転化は
「資本と労働との闘争」の本質を益々変化せしめなつたことは
否かれない。

8.40. Nercknerは、戦後の社会的獲得物としての8時間労働制と
罷業の自由との攻撃を集中し、社会政策の生産政策への転向を
強調した。

8.39. 社会政策の危機、その限界、経済政策への従属と競争論争。

8.40. Nerckner 对 社会民主主義労働組合及び Brentano の論争。

8.41. 我々は 社会民主主義社会政策理論の分配政策より生産政策への
重点の転化と、経済民主主義理論の展開と時期を同じくし、新しい
立場は、後者の理論体系の重要な要素として始め基礎づけられた
ものと見做すことができる。

8.42. 経済民主主義を始め討議することによつて、社会政策の生産政策優位への
転向を基礎つけた 1925年 A.D.G.B. の Breslau 大会は同時にその
合理化をもあらゆる力を込めて要求せる決議を採択した。

8.42. 独逸工業全国同盟, Reichsverband der deutschen
Industrie
経済綱領 1925. Dez.

8.43. A.F.A. = Arbeitsgemeinschaft freier Angestelltenverbände.
A.D.B. =

8.43. 合理化に対する社会民主主義的要求。

8.44. 資本主義合理化に対する経済民主主義の決定的重要性。

8.44. 合理化過程における労働者及び被労働者の生産組織構成への
参加協力の必要。

8.48. 社会民主主義社会政策論は、資本主義的産業合理化と支持促進することによつて低い価格と高い賃銀との要求が原理的に充たされることと、一つの新しい賃銀理論によつて説いた。

「高い賃銀」の理論のこゝろは過少消費説の根據。

賃銀引上げによる販路可能性を説くことは所詮、企業者は、彼れらの商品と贈與することと利益をとり、ということにほかならぬ。

Rosa Luxemburg 批判。 "過剰在庫商品を週期的に労働組合員に贈呈することによつて、経済的生産の擾乱を予経過を保つこと" (Rosa Luxemburg) を説く方が、高明である。

① かる販路解決は、剰余価値の犠牲に於てのみ行はれる。
(問題の)

8.50. 彼らはまた生産諸関係と捨象して高い賃銀を以て資本主義社会の恐慌の緩和、或は進んでの排除の可能性を与へるものと見ることは一つの純粹な同義反覆に陥るのである。
恐慌の支拂能力ある消費、或は支拂能力ある消費者の缺乏から生ずる

② *Es ist ohne reine Tautologie zu sagen, daß die Krisen aus Mangel an zahlungsfähiger Konsumtion oder aus zahlungsfähigen Konsumenten hervorgehen.*

③ "どの場合の恐慌も、賃銀が一般的に膨脹し、労働者階級の平均するところの年生産物中の消費に繰送された部分の現実的に増大する一期間によつて準備されるのである。" (Das Kapital)

8.51. 賃銀と剰余価値との関係の回避
賃銀の増変化と不変資本の増変化と關聯するものとして把握す。

8.52. 労働生産性説の社会民主主義的構想

(労働の生産性の上昇と共に、労働力の価値は低下する。
たゞ之によつて実質賃銀は高まる。 (Braunthal.)

Braunthal.

(Marxの生産性増進の場合に賃銀が生活費に比例して上昇することと充分に説き得なかつたのは、彼の窮乏化説加之を妨げたものに外ならぬ。

Braunthalは、生産性の増進が労働者階級の健康と労働力とを犠牲として行はれないことを必要条件としてゐる。

(たゞ労働生産性の増進は、資本制に於ては労働強家の平均の上昇を俟たずしては行はれないから Braunthalの附した條件は充たさるべき何らの理由をもたぬ。

8.53. 資本主義の生産様式の支配の下に於て、労働生産性増進の過程は、労働者が自分自身のために使用する労働日部分を短縮し、正にこれによつて労働者が資本家のために無償に労働する労働日他の部分を延長することを目的としてゐる" といふ相対的剰余価値生産の基本的法則。

(假令労働生産性の増進が商品の価値を低下せしめれば依てして剰余価値増大の有力な手段なのである。この剰余価値のみが資本家の欲求の対象である。

8.57. 資本缺乏、資本形成の要求。

Braunthalは、生産諸関係から独立した労働生産性を以て賃銀増大の限界であると規定することによつて賃銀の無制限増大の可能性を主張しようとする。

8.58. 合理化の諸結果は先づ第一に 諸社の企業の利益となる。

8.59. F. Olk 能力の低下?

H. Acker „経済拡張による失業の除去”

8.60. 技術的組織の過程としての合理化ではなく、
資本主義的経済体制での過程のちはれる諸条件が以前の凡ゆる
恐慌に於けると同じく、この夜も亦、急激な逆転の原因であるからだと、い
われる。(Naphtali)

「労働者層の完全なる就業と相俟つて傳統的な経営技術の精華上の状態。
労働者層を排除する近代的な機械」

8.61. „誤れる合理化”の理論

Otto Bauer. Rationalisierung.
Fehlrationalisierung.

資本主義経済に於ける私経済的収益性と社会的生産性との不一致。

8.62. 資本主義的生産性と収益性との同付の増大の下に於ける 高い賃銀の要求の
理論化。

8.63. ^{212%} 高い賃銀の要求の反面は、当然に低い賃銀の容認である。

現在の技術的過程の強力的な変化に際しては 賃銀の高さは、
機械化と比べると、何ら決定的な役割を演じておかない。

8.66. Bauerは、誤れる合理化と區別して ^{資本主義的}社会的秩序の 崩壊の 原因を、之を 変革
せしめれば解決し難い生産の損失を説き及ぼす。
„合理化の限界”

8.48. Fritz Baude は „合理化は二つの可能性を与へる。① 同一生産物をより少い
労働者数とむね生産するか、② 同一労働者数とむねより多くの生産物を生産す
かである。我々の要求するは後者に外ならぬ”と云つて、資本主義的合理化に
於ける就業率の上昇維持が、実質賃銀の昇騰、工業的生産物の国内販路
の拡張、生産の増大、経済的閉鎖の裡に、自ら行はれるもの如き展望を
与へる。

8.49. 新近の賃銀理論では、「高い賃銀」は労働者並に企業者の利益の
利益と見らる。即ち大衆の購買力、消費を高め、販路の問題を解決する。
これは国内市場拡張の手段として役立つ、生産と消費との不均衡を減少
するとはつて恐慌を排除し或は之を緩和するといふのである。

8.49. 合理化はたゞ事態の組織的な急速な展開を伴ふ「古い現象に対する
新しい言葉に過ぎない」。

Nilferding. [Das Finanzkapital 邦訳改定文庫版 713-4頁]
「企業者階級の利益とむねとは国内市場の拡張にあるが、賃銀の引上げによる
国内市場の拡張は利潤率の低下を意味する。」これはやがて蓄積を緩慢
ならしめ、彼らの資本を競争の最も大なる完成品産業に退かせ、「彼らは
利潤率を犠牲とすることをせよ、外市場を拡張せよと教道を選ばせよ」
「之によつて新なる生産物の一部分は労働者の所得とはならず、国内生産物の需要
を増すことはない。むしろ、それは、資本を放出せられ、外市場自由の生産に用
ひられる。だからこの場合には利潤率はより高く、蓄積はより急速である。」

8.50. 賃銀の引上げは剩余価値と犠牲とを比べ、不変資本の犠牲に於てははるかにある。——資本制生産の収益性
の低下を抑制する。

8.51. 不変資本の節約はつて遊蕩した価値単位は賃銀の引上げの代りに使われ、
資本家の企業拡張の代りに振り向けられることによつて利潤を高める代りに使われ、
行はれる
もの
に
は
な
ら
ず、

§. 61. 社会主義の「高き賃銀」の理論は、

賃銀の引上げは主として合理化及び技術的完成による他の生産上の引下げによつて行はれるものである。しかるに近代的技术的装置の下に於ては、企業者層はつては販路関係安定の必要は益強制のとなり、労働者階級の購買力の成長は資本制生産そのものの、経済的必然性とも意味する。ことを説く。

Kapital Bd. II

§. 414. Es ist eine reine Tautologie zu sagen, daß die Krisen aus Mangel an zahlungsfähiger Konsumtion oder an zahlungsfähigen Konsumenten hervorgehen. Andre Konsumenten, als zahlende, kennt das kapitalistische System nicht, ausgenommen die sub forma pauperis [= in die Form des Armen] oder des „Spitzbuben“. Daphären unkäuflich sind, heißt nichts, als daß sich keine zahlungsfähigen Käufer für sie finden, also Konsumenten (sei es nun, daß die Waren in letzter Instanz zum Behuf produktiver oder individueller Konsumtion gekauft werden). Will man aber dieser Tautologie einen Schein tiefes Begründung dadurch geben, daß man sagt, die Arbeiterklasse erhalte einen zu geringen Teil ihres eignen Produkts, und dem Uebelstand werde mithin abgeholfen, sobald sie größern Anteil davon empfängt, ihr Arbeitslohn folglich wächst, so ist nur zu bemerken, daß die Krisen jedesmal gerade vorbereitet werden durch eine Periode, worin der Arbeitslohn allgemein steigt und die Arbeiterklasse realiter [wirklich] größern Anteil an dem für Konsumtion bestimmten Teil des jährlichen Produkts erhält.

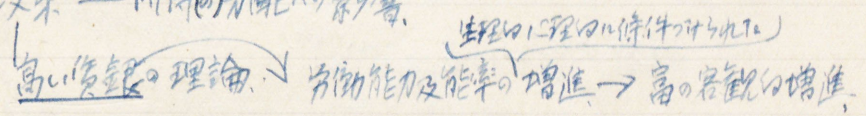
§. 3. 「資本形成の問題」と社会主義社会政策論。

§. 79. 社会主義は社会政策の施設の負担軽減と賃銀の低下とを資本形成のために要求した

§. 80. 社会政策と富の客観的増加と目とする経済政策は対立せしめることは誤謬であると共に

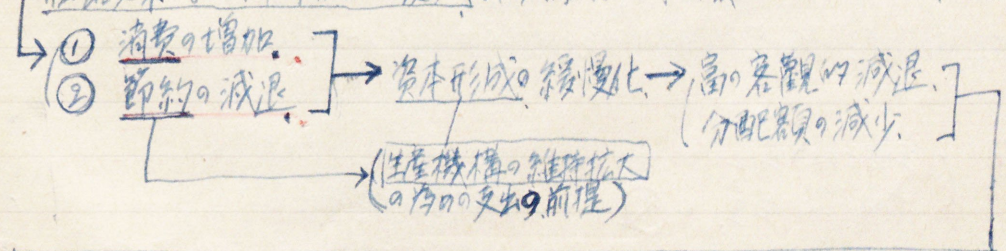
社会政策の経済形態に及ぼす作用は、経済政策の目的とする社会政策の效果の観点から要らざる考察せられねばならぬことは Naphatali によつて最も文章の前提以外ならぬ。

労働力保護
賃銀政策 — 所得の分配への影響



§. 80 経済政策より社会政策 ◎ Naphatali の考察に於ける要旨は 2. 12 8 4 5
社会政策より経済政策

§. 81. 社会政策による所得分配の変更、即ち高額所得の犠牲による低額所得の増大



→ 社会政策の方向の利益をいくる階級及層は如何の利益を享受し

8.82 消費と資本形成との向の関係、
消費と節約。

Naphtaliは 社会政策による所得分配の変更による資本の形成
下の所得階層は以下の通り表式に説明する

総所得	100	(下層) 80	(節約) 4	(5%)	(消上) 76
		(上層) 20	8	(40%)	12
社会政策による変化:			12	:	88
		(所得) (下層) 90	(節約) 4	(消上) 86	
		(上層) 10	0	10	
			4	:	96
[現実的は]		(所得) (下層) 90	(節約) 4.5	(消上) 85.5	
		(上層) 10	3	(30%)	7
			7.5	:	92.5

8.87. 経済民主主義の究極的負担は民主制国家の資本の形成を引下げる。

8.88. (生産手段の生産 小
消費手段の生産 〇大)

(奢侈的消費 小
日常の欲望の大量の貨物の消費 大)

大量生産

8.89. 社会的な所得分配政策。
(経済的・生産政策。
失業保険制。

8.90. 財政改革を以て社会民主主義社会政策の理論の後退過程。

{ 資本に対する租税負担の軽減
大衆課税の加重
社会政策的施設の支出切下げ

8.92 Braunthal.

(貨幣資本の形成: 戦争の状態に達し。
租税収入: 高額所得及財産の絶対的並に相対的後退の強化、
所得の上層から下層への推移。

〇 財政政策の資本形成に及ぼす諸作用。

8.92. Naphtali.

〇 財政政策の生産能力に対する影響力。

資本形成の程度は 経済的・経済の生産性に依る。
資本形成はそれ自らの側から生産性発展の一要因であるが
唯一のものは無い。

(資本形成強化。
消上拡張最強化。

(8.109. 労働者層の無条件的連帯の道徳的理會)

8.92. Tarnow. 購買力説支持

・ 租税政策は消と力を弱めざるやね。

○ 資本形成と生産諸力との不均衡。

Naphtali.

ハルツ.

カイム.

8.93. 所得に対する課税は且つ、資本形成と強制的に減退せしめるといふ
養老基金説の前提。

8.94. Colm. 租税制の作用は租税の種類そのものに依るものではないが、
租税の用途の種類に依る。

	Eisenach	1869.	
	Erfurt 綱領	1891.	Gotha 綱領 1895.
8.102.	Jena 大会	1913.	
	Görlitz 綱領	1921.	(Bernstein)

Fr. Engels: Zur Kritik des sozialdemokratischen Programmtextes

8.103. 労働者階級と国家との間にはやがて競争状態は存在せぬ。

彼らは共同責任、自治体及び、屢、単独責任をとも担つた。 (生産優位の
社会政策)

8.106. “社会政策もまた、経済の発展と自己の限界とを越えざるやね。
経済政策の健全なる諸要求が社会政策の基本的命題の背後に隠れて
はならぬ”

8.120. Vogelstraufpolitik 銀行政策

§ 4. 債銀に対する攻撃と社会民主主義社会政策論

8.124. ゼツエリク約款.

失業は資本形成の増進によつて克服せしめらる.

8.125. Naphthal-Braunthal は、資本形成と高い債銀との対立と、生産性の増進によつて解決せしめらる。——労賃生産力説の切見による矛盾を言ふ。

8.126. Heimann: [債銀所得を人為的に引上げること、国民経済に有利であるといふ購買力説的な楽観論]
2. 資本形成の見地から行へる。

購買力説の最も奇異なる特性は、資本形成はたゞ利潤のみによつて

なされるといふ債銀基金説的な主張を却つて無造作に承認して、

本来の如く、快に資本形成のための闘争を導くのではなく、

現在の消費のために、資本の形成を制限せんがために、資本形成に対する

闘争を導かうとする、ことにある。

8.127. 購買力説の資本主義の個別的論的性格

8.128. 高い債銀は失業を意味する、といふ理論が ADGB に現はれる。

Nering, Franz.

1) 労働付向の短縮。

↑
付与債銀の引上げ

↑
生産上の騰貴

↑
失業の増大、

2) 債銀の切下げ

↑
物価の低落

↑
経済の振興、失業の減退。

Nering

労働給付の増進と同様に伴はぬ債銀の騰貴は、費用の騰貴を意味する。

8.131. 民に墮落せしむる失業手当は廃止されねばならぬ (Hitler)

失業者
再編入 (賃銀の切下げ
租税の切下げ = 社会の負担の切下げ?
原料価格の低下)

8.132. 技術の進歩と蓄積とは必ずしも相伴はず。
工業化に伴ふ生産迂路の増大。

大中経営は小経営に比し費用分仕特に賃銀分仕の可能性に乏しい

8.133 Neimann の社会主義の社会政策理論、固有の二面性。

社会政策は資本支配と物の財秩序との構造のうちに於ける
反対原理の定立、であり。

資本主義のうちに於て資本主義に反対の社会的理念を實現化する
192ある。

8.140 Emil Lederer.

8.148 完全協約
マニフェスト協約
賃率協約

8.152 経済的 = 社会的民主主義と職業身分制思想との結合。

8.153. 40時間労働週。

8.154. 1931. Sept. Frankfurt 大会

"Die 40 Stunden-Woche. Untersuchungen über Arbeitsmarkt,
Arbeitsbeitrag und Arbeitszeit."

hrg. im Auftrage d. ADGB v. Th. Leipart, 1931.

8.156. 恐慌下に於ける社会政策の景気政策への従属の理論化。

8.160. Lederer.

いはゆる技術的進歩の福音は、資本主義の企業者の行方ばかりであり、
客観的な分析はかゝる見方の一面性を暴露する。

8.162 構成的失業

8.165. 賃銀補整に伴はぬ 40時間労働週

[ADGBのFrankfurt大会の中心的要求]

恐慌と失業の重症化とはADGBは40時間労働週の要求を掲げ、
短時間労働による部分的失業と賃銀の切下げとを制夜化しようとした。

5.

§ 計畫經濟理論と社會民主主義社會政策論.

8.189. 資本主義の計畫經濟理論.

社會民主主義計畫經濟理論.

組織された資本主義=經濟民主主義理論の再生形態として

8.185. Lederer

計畫經濟は 進化 したものであるが、非革命的転化 による。

8.186. "自由なる經濟と計畫經濟とは、たゞ原理的な対立物であつて 現實なものは相互に排除するものではない。"

8.186. 信用統制.

↓
生産統制.

8.188. "資本主義の協同經濟の社會主義的秩序への移行の問題は本質的に、一國の權力政治上の問題として可なり" (Leichter).

8.191. Arbitrarigentum 労働 と 所有 との合致 (Neimann)

8.192. 前進的な社會政策 → 社會化 → 計畫經濟. (Neimann)

「中央集权的な管理」
「分权主義的な自由」

8.193. Herberg の計畫經濟は 管理社會主義と市場社會主義との混合型である。

経済建立—労働組合の匡救綱領

8.197. 1932. Juni. A.G.B. A.F.A. "労働組合の社会主義的綱領"

8.199. 1932. Aug. S.P.D. "社会主義綱領"

8.207. 貸銀の下げと「同様の保障手段」とする信用拡張政策による労働機会振興計画—これが社会民主主義の恐慌時に於ける社会政策の努力の「経済政策の領域への侵入」の一形態なのである。
Arbeitsbeschaffungsplan.
仕事給與計畫

8.208. W.T.B. 計畫

8.213. ハルツギウ・インフレーション戦線

Wagemann 貨幣信用改革案
国民社会主義

8.218. Lederer.

8.222. Ledererの全計畫はこれによつて一定の失業者が彼らの貨幣形態に於ける扶助のほかは、ある生産に従事する失業者が貨幣協約以下の貨幣の生産に於ける財貨を以て、現物形態に扶助せられる、といふことと帰着する。

この計畫は就業し失業者の与ける報酬、即ち失業手当と一定の大家の消費財の現物配当との合計が、一般の貨幣協約貨幣より低くは低からず、且つは自明の前提に於ける。

8.222. Schwarzarbeiter

8.223.

8.227. 失業者による失業者扶助の理念、
就業者の失業者に対する連帯感

8.228. "十一月の犯罪者" = 社会民主主義の贖罪の途

8.145.

社会民主党の社会の反動と労働組合の貨幣政策との罪悪感にこの告白。
社会政策の諸施設 高貨幣政策

8.223. 失業者の扶助の中心は他の失業者と就業せしめる。

8.224. 失業者に対する失業者の連帯の施設

↓
Arbeitsdienst.
freiwilliger Arbeitsdienst
↓
強制的な Arbeitsdienstpflicht.

Karl Renner.

協同組合に於ける剰余価値の連帯化
労働組合に於ける貨幣の社会連帯化。

8.226. Ledererの労働機会振興計畫は失業者の、部分的に自然経済であり、これによつて必要と、併し現行に不足している物の生産手段の徴収と、失業者自己労働力の能動化の目的がある。それ故に貨幣量の変化なく、信用と与へられ、又返済の必要とない唯一の将来の負担は、要求した生産手段の減価補償と原料調達に於ける。

インターナショナル労働者同盟の決議

—— マルクスによる起草され、1866年のゲッティンゲンにおける第1回大会で
通過せるもの ——

労働組合、その過去・現在および将来

a. その過去

資本は集積された社会的力であるが、労働者はその労働力を自由にしるに
すぎない。だから、資本と労働との間の契約は、決して、公正な諸条件に立脚
することは出来ぬ。—— 22に公正といふのは、決して、物質的生産手段および
労働手段の所有权を一方の側に置き、生ける労働力と他方の側に置くやうな、
一社会の意味では無い。労働者たちの唯一の社会的力は、彼等の数であ
る。だから数の力は、不統一によつて破れる。労働者たちの不統一は、彼等の
不可避的な相互的競争によつて生み出され、且つ永続化される。

労働組合は、もとより、労働者たちと少くとも全くの奴隷の状態以上は引上げ
るやうな契約条件を獲得するため、この競争をなくせんとする。あるいは少くとも
緩和せんとする。労働者たちの自然発生的な企図から生じ、だから労働
組合の直接の目的は、日常の諸要求は、資本の恣断な侵掠に対する防衛的
手段に、一言で云へば「賃銀問題」および「労働時間問題」に、局限された
労働組合のたゞの活動は、たゞに正当であるばかりでなく、必要である。現在の生産
制度が存続せざるは、これを放棄することは出来ぬ。それどころか、すべての国々
における労働組合の設立および統一によつて、これを普遍化せねばならぬ。他方
において、労働組合は、あたかも中世の都市行政および自治体か、ブルジョア階級
のたゞのたゞやうに、みづから意識することなしに労働者階級の組織の中にとどつた。
労働組合は資本と労働との間の小合戦のため必要とし、これは、^{せりあひ}

債銀制度および資本支配一般の廢止のための組織された動力
(organised agencies) とし、さらに一層重要である。

6. その現在

労働組合は、資本に対する局所的および直接的な闘争に恵念の餘り、債銀制度などの対するその行動能力をまだ充分には理解し
ない。だからそれは、一般的な社会的および政治的運動を余りに
控へてゐる。しかし、最近の労働組合においては、その偉大な歴史
的使命に關する一定の感情が目覚めたやうに思はれるのであり、これは、
例へば、イギリスの最近の政治運動への労働組合の参加から、合衆国
における労働組合の諸機能に關する理解の増進から、また、シブネルド
における最近の労働組合代表者大会の採用せる次のやうな決議から、
觀取されることである。曰く、「本會議は、萬国の労働者を一國の
相互の兄弟關係に統一せんとするインターナショナル同盟の諸努力を完全に
是認し、そしてこれ故に、この団体は加盟すること、———このことと
この団体は全労働者階級の進歩および幸福のために重要だと信じる
場合は、———この代表者を出してゐる種々の組合に対して切實に忠告
する」と。

7. その将来

その最初の諸目的を度外視すれば、労働組合は、いほや、労働者
階級の中心組織たることを意識し、その完全な解放といふ大利益に
おいて行動することを望まねばならぬ。これは、この目的を達成はう

と努力してゐる一切の社会の政治的運動を支持せねばならぬ。
それか、みづからを全労働者階級の**前衛**および**代表者**と看做し、また
斯かるものとして行動するときは、それは、その列伍への非組合員たちの加入
を實現すること、成功するに違ひない。これは、異常な諸事情によつて
その力を奪はれたところの、待遇の悪い職業、たとえば「農業労働者の利害
を、細心に留意せねばならぬ。これは、この諸努力が、狹量且つ利己的
なものであるばかりで、踏みにじられた萬人の解放を目的とするものであること
と、全世界に納得せねばならぬ。

『賃銀・価格および利潤』 ドイツ版への序言
(マルクス・エンゲルス・レーニン研究所)

この著作『賃銀・価格および利潤』は、Karl Marxが1865年6月20日
および27日に、Londonにおける第一労働者Internationalの総務委員会で
行った講演である。イギリス人の労働組合員で第一Internationalの成員だった
Westonは、さらに、次のような問題と討議に付することと、総務委員会に提案して
る。

- 『(1)、労働者階級の社会的および物質的見込は、一般に、賃銀の値上
げによって改善されるか？
- (2)、賃銀を値上げさせようとする労働組合の努力は、他の産業部門内
に対して有害な作用をしないか？』 *1865年4月4日の総務委員会会議の議事録より、
Westonは、

- 『(1)、一般的に賃銀の値上げは、労働者たちにとって何の役にも立たぬ』
あるいは、*trade-union* *
(2)、それらのゆえに、労働組合は有害な作用をするといふこと』
と主張した。 *1865年5月20日付のFriedrich Engels宛のKarl Marxの手紙。

Marxが彼の講演『賃銀・価格および利潤』——最初の版の
英語の表題は、『価値・価格および利潤』となつてゐた——で Weston
に與へた辯駁は、非常に確かな効果があつたので、総務委員会はこれを
パンフレットとして出版しようとした。だがそれは公利されなかつた。この講演
は、Marx および Engelsの死後をはじめ、1897年に英語で、また後に——
1898年——ドイツ語で、出版された。

Marxの講演以来がらつた68年間に、この講演の現実性は、減少せしむる
増加した。資本家の有給書記たちの古い店ぶら文句、
労働者は賃銀値上げのために闘争すべきではない、けだし、賃銀騰貴と相殺する
物価騰貴を強制的に生ぜしめるから。一国民の賃銀基金は不変不動の大小で
ある。ある労働者層が余りに多く賃銀を得れば、それはそれだけ他の労働者層の
賃銀分前を減少させる。労働組合は政治問題に、資本主義制度に対する闘
争に、関心をもちてはいいない。といふやうな

これらの故意的な嘘は、今日、社会民主主義の及びブルジョア的な経済学者や
社会主義者たちの共有物である。Marxのこの著作は、これらの主張の反動的な
背理を粉砕するものである。

イギリス人の労働組合員 Weston と一掃対つたのは、ドイツ人の労働者指導
者 Lassalle である。『賃銀鉄則』と労働組合の存在の否認とは、
Lassalleの反動的理論における二つの決定的な構成部分であつた。そして
大戦以前には、他は Marx 主義と Lassalle 主義に於て 置換へてゐた。ドイツの
社会民主党は、この過程を完了した。自由な労働組合と、^{労働者階級の} 国内的安寧の労働者
たちの繋縛の、ストライキ闘争の阻止の組織に転化せんとする多年間の努
力をば、社会民主党は、いまだ、その指導せる労働組合運動の自発的解消・
Nitsch の労働組合組織の引渡をもつて、最後の仕上げを了してゐる。

そしてこの時にこそ、ドイツの労働者階級が、経済闘争の本質と、経済闘争
の政治闘争への移行の本質と、労働組合の現実の課題と、認識することから
決定的な重要である。パンフレット『賃銀・価格および利潤』は、巧妙に
Westonの諸見解の論駁と Marxの経済学説の大綱の解明と結びつけたこと
によつて、これらの問題を説明してゐる。この書は、経済学上の複雑な諸問題の

平易・明白な解明の模範であり、理論の科学的性格がそのプロダクト的な革命的な内容と高度に統一された叙述の模範である。この書は、Marx主義の主要著作『資本論』への最善の手引き書である。

このパンフレットのドイツ訳は、—— 附録の労働組合に関する決議のドイツ訳もさうだが—— 英語の原文に従って行われ、これに基づいて一聯の誤りが著者に
よって修正された。最初の6節の見出しは、英訳版の編輯者「アウエリンク」
の付せるものであり、その他の節の見出しは、Karl Marxの付せるものである。この訳は、
Karl Marxの『選集』における本文と一致している。

このパンフレットの仕上げは、ホルスト・フレリヒがやった。

社研. 1/24 (K) Text. — Marx: 価値・価格および利潤.
81-85.

横山正彦氏出席
Reporter 長坂昌人

[長坂] 不変の量 (歴史的 constant magnitude との).
不変額.

[生野] “次本論”において商品の価値を究明しゆく場合には、論理的にのみ遂行することが可能であるか、宇野弘藏氏によれば、これは歴史的な、具体的な交換過程をいれど考えなければならぬというのであるか、宇野氏の場合、論理的過程は「史的なもの、外なるもの」といわれる。

[横山] 論理的なものとして「史的なもの」との弁証法的統一。論理的に貫徹されゆく過程は「史的な過程」がそれと結びあつてゐる。

[横山] 私見によれば、次本論”において最も重要なものは“価値形態”論である。これは Smith, Ricardo などの決定的相異点がある。古典学派は、価値を相対的価値としてのみ捉えた。二商品交換の比率だけから彼らの問題と対応してゐた。絶対的価値といふものを考えられなかつた。その絶対的価値、価値そのもの、実体を究明したのが Marx である。その次本論”中“価値形態”の部分である。

[服部] “価値形態”論は“絶対的価値”論と必然的に結びつくものであるか、という点もまた、価値形態論との対比から絶対的価値の存在であるか？

[生野] 全体の、或は個々の商品に価値形態を、一般的価値形態を類別し論理的必然性。

2商品A = 商品B od. = v商品C od. = w商品D od. = 2商品E.
③ 20匹の亜麻布 = 1枚の上衣 od. = 10封筒の茶 od. = 40封筒の咖啡 od. = 17分の一の小麦 od. = 2枚の金 od. = 1/2トンの鉄

④ 1枚の上衣 =
10封筒の茶 =
40封筒の咖啡 =
17分の一の小麦 =
2枚の金 =
1/2トンの鉄 =
2商品A =
u.s.w.

20匹の亜麻布

20匹の亜麻布 = 1枚の上衣
20匹の亜麻布 = 10封筒の茶
u.s.w.

1枚の上衣 = 20匹の亜麻布
10封筒の茶 = 20匹の亜麻布
u.s.w.

Kapitel
A. 8.40.

社研. 1/28. (水) 井上晴丸: 日本農業資本主義の問題. (初回).
報告者: 藤井.

8.7. (土) 前段の段階 ~~は~~ 封建的土地所有の阻止作用を認めねばならぬ.
8.14 (土) におい、前段階の農業資本主義はついで早くも二つの途の拮抗が見出
されなくともならない。わいわいはついで。

農民の窮乏と商品生産との関係? 井上氏によれば、これは
資本主義化による。封建的土地所有の阻止作用。わいわいはついで!!

山田盛吉郎
小作料率に及ぼす影響と
止材。

米穀商品生産に於ては価格法則
はあらわにあらわれ、
資本主義下、平均利潤率の成立、
価格以下に下げられ、価格法
則の阻止

潮流 新年号 8.24. (F) 第6巻.

小作料率低下も極端なものでない。

一般の率も極端に低い水準で、地主を抑え、

労賃問題と同様、水準低い上、能率給による労働者層の培養。阻止

(地代) 封建的 日本資本主義 } 二重の圧力。
独占資本の圧力
日本資本主義

8.8. 資本主義の発展が非資本主義の領域を蚕食する場合は、
Lenin「所謂市場問題について」の二つの契機(一)の場合とわ
別物とわらぬか。

「二つの途」をひくともつて号え、大塚、内田、酒造論の基礎に立つて大塚史学
をよむ。

労働派が「二つの途」を極力認めない。この途を大に要する。

機械の採用という程度に
は認めない。

大塚氏が日本農業を規定し封建的といふのは、
70年代型の途、経済政策の途、
日本資本主義。

山田氏の内途とLZUの途、小農範疇の抽出、明治米穀割りの考え、
(封建地代と資本制地代) 日本に於ては小農範疇を物納地代、
山田氏とわ別物とわらぬ。といつては、

社研. 2/3. (水) 「価値、価格及利潤」(内) 価値と労働(土) 労働力。
報告者: 服部文男 (報酬) 横山氏欠席。

① 賃銀制の基礎として、平等な、^(報酬) 公正な報酬を要求すること、
奴隷制の基礎として、自由な、^(報酬) 公正な報酬を要求すること、
「公平な報酬」

to clamour for equal or even equitable retribution
on the basis of the wages system.

② 価値と価格との一致の時代が存在する。単純商品生産社会がその存在を認め、
「平等」
gleich oder auch nur gerechter Bezahlung.

③ 労働価値説発生の必然性
「本回」

① 経研. 8.7H号. 井上: 日本農業資本主義化の問題.
 ② 朝流新号. 井上: 戦争経済と基本構造上の相対.

以下(断り書)材料
 井上の説明

井上時雄. 内田義彦 両氏出席
 商品生産 (本制商社)

家族労働

日本2の(中)段階が深化し、(中)段階が停滞している。
 第1段階が第2段階に移りつつある。佃作は別な賃金システムがないからである。
 土地所有の経営に相対賃金。
 賃金労働者の雇い入れは採算に合わない。
 農産物の佃作以下に売られる。
 この原因① 地代が高い。
 ② 地主の採算が合わない。
 更に②の原因が①である。②の原因は結局①の原因に帰着する。

家族労働力に限界がある。
 賃金労働力もまた工業雇傭労働力の佃作
 60%
 流れていく。

農業の労働
 自給自足…… 生産物の一部を消費する。
 商品…… 分業—交換—佃作。
 本来の剰余生産物部分の大半は地主のもの。
 (生産物) 佃作以下。

実業の、大要部分として
 窮乏状態(生産物) 佃作以下。
 市場は overflow. する。→ 生産物の佃作以下に売られる。

封建地代
 小作人の食米は不足する。43%
 どれが不足しないか。一半半分が不足する。

地代が7割と2割佃作形成部分の佃作形成部分として2割4割
 出される。

戦争経済の遺産
 阻止の勢力も含めて。

農村(農業的)

漢字派
 従来の、経営の相対賃金システム。家族労働が重要な要因である。
 佃作は佃作別な賃金システムはない。

単純商品生産
 自動的に進化する(2)の目的は、
 2つの部分。

現在の新工業労働力の流動性。高流動性になった。
 低い賃金でも少くとも他に移る。先2つは少くとも
 高と低に他に移る。
 7割中型、自作農の労働者の雇い入れ。一定の賃金保証。
 7割中型、地主の小作人の雇い入れ。経済外賃金。不償。場外賃金
 同じ賃金でも吸引力が異なる。現在の賃金システムは
 ①の小さい部分 ②の大きい部分

②の確立。—賃金労働。賃金労働者の発生は必然的。
 佃作通りの賃金労働者の発生。

①の確立か
 賃金労働の佃作(工業的)の発生。
 佃作の工業的発生は形成される。佃作形成過程。

近代の大工業は「賃金労働」の時間的測定による単純
 労働である。賃金労働の発生は必然的。

de factoの労働力は資本制の労働力である。
 [Manufaktur 段階は既に佃作形成
 Manufaktur による大工業に移行して2つ①の確立される。]

家族労働 } 2の流動性
 賃金労働 } 2の流動性
 佃作労働 } 2の流動性

④ 農民の①の2つ賃金労働
 による生産物の2割、賃金労働。

治安警察法

第十七條

左ノ各号ノ目的ヲ以テ他人ニ對シテ暴行脅迫ニ若シ公然誹毀シ又ハ才ニ号ノ目的ヲ以テ他人ヲ誘惑若シ煽動スルコトヲ得ズ

一 勞務ノ條件又ハ報酬ニ因リ協同行爲ヲ爲スルハ其團體ニ加入セズ又ハ其加入ヲ妨ケルコト

二 同盟解雇若シ同盟罷業ヲ遂行スルカ爲メ使伊等ノシテ勞務者ヲ解雇セシメ又ハ勞務ニ從事スル申上ヲ拒絶セシメ又ハ勞務者トシテ勞務ヲ停止セシメ又ハ勞務者トシテ雇傭スル申上ヲ拒絶セシムルコト

三 勞務ノ條件又ハ報酬ニ因リ相手方ニ承諾ヲ強ヒルコト
耕作自由ニ出ルル土地賃貸條件ニ因リ承諾ヲ強ヒルカ爲メ相手方ニ對シ暴行脅迫ニ若シ公然誹毀スルコトヲ得ズ

労働率減調停法

第一條 左に掲げる事業に於て労働率減
率生じらば、行政官庁は、当業者、
請ふにヨリ、調停委員会を開設し、
得、当業者、請ふにヨリ、陽合トイハレ
行政官庁に於て必要アリト認むるにキ
又同法

一、在る電氣力他、動力ヲ使用スル鉄道、
軌道、又ハ船舶ヨリ、公衆需要ニ應じル
運輸事業

二、公衆ニ用ニ供スル郵便、電信、又ハ電報、
事業

三、公衆ニ需要ニ充ルル水道、電氣、又ハ瓦
斯供給、事業

四、中一号乃至中三号、事業ニ電氣ヲ
供給スル事業ニテ、停止力、中一
乃至中三号、事業ヲ進行ス者ニテ、阻
害スルモノ

五、ソノ他、公衆ハ、日常生活ニ關係スル事
業ニテ、勅令ヲ以テ定ムモノ

六、陸軍、又ハ海軍、直轄スル兵艦、艦
船、製造修理、事業ニテ、勅令ヲ以
テ定ムモノ

七、製造修理、事業ニテ、勅令ヲ以
テ定ムモノ

古典の場合

(内田)

単純商品生産
家賃労働

[窮乏販売が行われない]

原始的蓄積期はか?

[初次 Manufaktur 期に於て]

家賃労働の報酬はくんと下げられ

~~Manufaktur 期~~

後者の

[それより下げられ ~~高く~~ 高くたつていかならざらぬ]

家賃労働 → 賃労働

相対的剰余価値の生産はつて、賃銀はくんと下げられ、212 家賃労働は消滅

① Faschismus の規定

Faschismus は

社会的 Faschismus のことである

労働力の価値は低下

これ (家賃労働) は 残りの日本

社会主義、社会保険はつて拮抗されつて、だから日本の場合
は Faschismus とはなして絶対主義

軽工業と重工業

在大規模商品生産の存在

商業利潤

1. 産業利潤の一部 [問題外]

2. 長期の商業利潤

は家賃と労働上の関係に結びつていふ。

[正當な場合]

① 軽工業 利潤大
② 重工業 小
利潤率の平均化
平均利潤率

(内田)

[絶対主義は [形態は] 史的に變化して来た] 722 の役割は
代行して来たといふ。

(井上)

[新舊階級の絶対主義は、以前のそれと異なるものであると
いふ。絶対主義は、因襲のものと考えられる]

日本の株式会社は、744 の株式会社と 210 の有限会社との中間である。

2/5. 武田 雅彦. *Amorin: Ricardo*. [Kap. 1, 2, 3.] (予定)
Reporter: Asaba. Kap. 1. 13.

Amorin の意図は 222 の 彼の序文は 222 年 11 月 9 日。

吾々の科学の論理的説明方法、根本的に抽象的且つ演繹的な方法。

8.2. auch wir pflegen von dem "Verteilungsproblem" als dem
"Hauptproblem" der Theoretischen Nationalökonomie "neben
dem Preisproblem" zu sprechen.
といふことは 222 の *Amorin* の意図は 204 頁と Reporter といふ。 [744 頁!!]

8.3. [formal — 概念的. wodurch.] *Amorin* の 222 の 222 とは
[materiell — 経験的. wie.] 混同して 222 と Rep. といふ。 [?]

8.3. (註) determine
bestimmen ← × → auffinden.

① *Amorin*. 認識対象 ← × → 経験対象

概念的に構成された対象
論理的に構成された対象
これ、社会的なものを指す [das Soziale
に属する。]

Verteilung — formal 概念的

8.4. (註) Mechanismus kausal.
Organismus teleologisch. } Betrachtung, 相違あり。
sein, 相違あり。

8.5. natürlicher Verlauf
[Naturgesetz. 論理的範疇あり。 sachlich +
Kategorieあり。 経験]

8.8. (註) Natur ① gegenständlich. — "von Natur aus" = ohne Zutun der Menschen.
② rein logisch. — allgemeine Beschaffenheit = Wesen = Natur der Dinge.

価値価格及利潤

社研. 2/10. (火) 横山氏出席.

[XF. 横山氏説明] 報告者: 瓜生.

服部. 河尻 (新入會).

◎ 社会的主要労働

"Kapital." Bd. III. (1). Kap. 10.

[Rosenberg. 註解. 第1章に對する注意]

"Theorie über den Mehrwert."

◎ 同一労働同一賃金

Sollen 不含有.

資本主義の此と如何に決するかの不可避であるか? と云うことの
問題である.

本文に即して.

しかし Weber の此と理論から実践を排除するのとはない.

理論 = 科学 \rightarrow 実践の指針となる.

政治的要求は理論から追隨するものではない.

日本の場合. 男女の同一労働同一賃金の slogan.

男子 賃金水準 低く. 更に価値以下である.

家計補充の女子労働は如何なるか.

女子の隷従的地位.

女子賃銀の低下.

Y 階に在る女子労働者の地位. 男女の平等.

技術的とは如何に決するかの.

生産条件の平均化

資本主義の工業は如何

農業に在るは如何. 土地の独占.

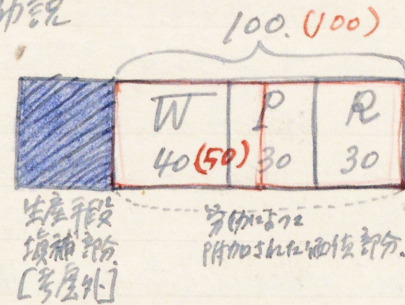
生産力の差

利潤率の低下.

剰余価値率の上昇.

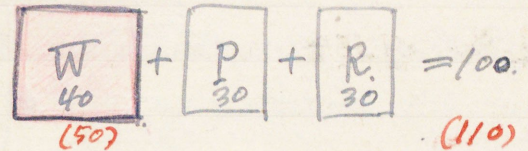
◎ 投下労働説と支配労働説

投下労働説
分解価値説
剰余価値説



購買・支配.

支配労働説
構成価値説
生産費説



三位一体説

総価値 \rightarrow 110.

投下労働時間 12h.
必要労働時間 6h.

W (=40) の 12h に對して支払われるものと考える.
(実には 6h に對する報酬だ!)

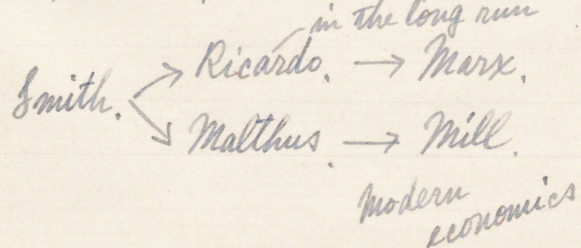
Smith は如何なる兩者が混同さ
れるか.

此利潤の存在する. 是れが資本の働きの
ありとす.

◎ 前資本主義時代は如何なる. 投下労働と支配労働との一致

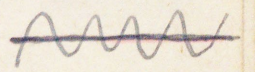
支配労働説は労働価値説に如何なるか.

自由競争の時代
剰余価値率の低下
投下労働



投下 - }
分解 - }
剰余 - }
支配 - }
構成 - }
生産費 - }

in the long run



社研. 2/11. 潮流 第1号. [経済]論文批判.
 宇佐美 誠次郎. 日本資本主義と産業構成の高度化.
 報告者 川崎七瀬.
 内田義彦氏出席.

L. Leontjew: Der „organisierte Kapitalismus“ und die
 „Wirtschaftsdemokratie“ (U.d.B.d.M. ^{1929. Bd. III.} Ht. Nr. 5)

M. Joelson: Monopolistischer Kapitalismus oder „organisierter“
 Kapitalismus. („ Ht. Nr. 6).

B. Borilin: Lenin über die „Ökonomik der Transformationsperiode“ („ Ht. Nr. 6).

Leontjew 邦訳 6.158.

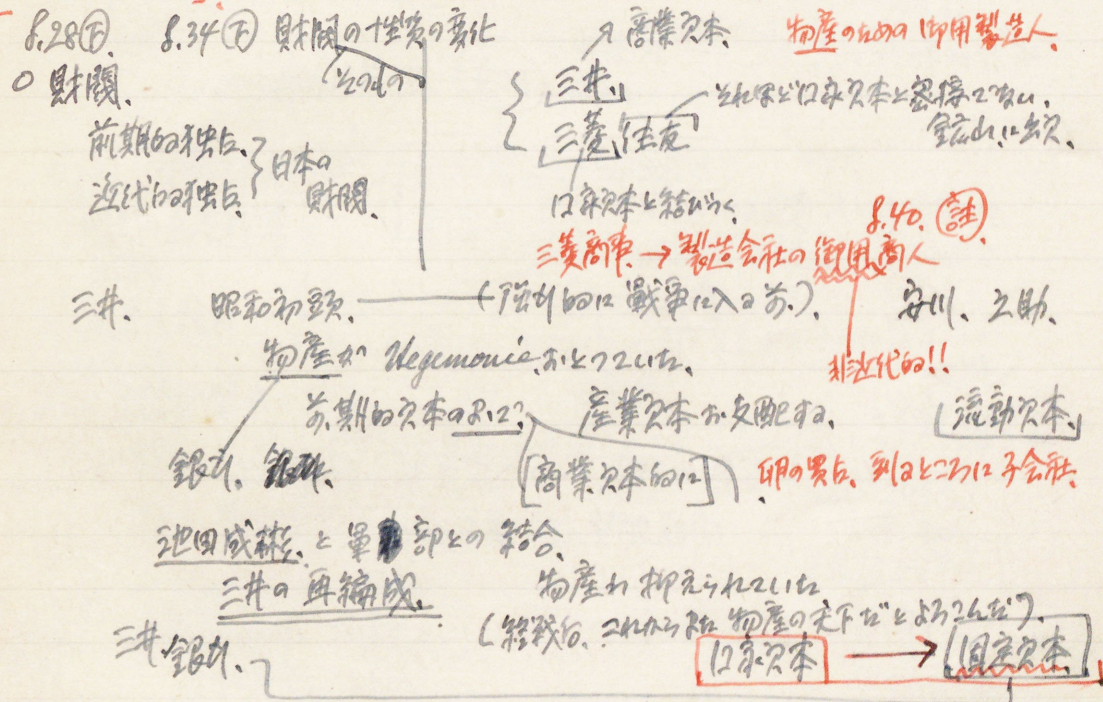
日本資本主義の具体的な現象形態を国型別に次の標題に
 編入せられた。即ち.

- 1). 日本経営の企業
- 2). 私的企業の活動に対する日本統制の種々の形態 (主として価格形成に關して)
- 3). 日本内の諸關係の領域
- 4). いわゆる社会政策の領域 (就中. 統制制及び労働立法).

Joelson 邦訳 105頁 Lenin 邦訳 311頁.

帝国主义は資本主義の発展の最終段階である。その最高段階である。min
 実際、帝国主义は資本主義の根柢が変革しないままに變革しつづける
 ため。帝国主义は資本主義の諸矛盾が複雑にし且つ激化する。これは
 独占が自由競争と、結びつたものから、先づ帝国主义は交換市場、競争
 恐慌等々を排除しない。

[以下内田氏説明] [党綱領の修正に關する資料]



三井は、物産と対抗し出づる。
 商業資本の抬頭
 8.41.

宇佐美氏論を批判.

重工業部門と軽工業部門、
I部門とII部門。 } 両範疇の混同。

① 軍需品部門。 — 糧食部門。
産業

② [重工業の I 部門、
II 部門のありて] 高次の
生産力 が形成された

早期の再生産外脱部門のあり。 消費 である。

8.28. 剰余価値率と利潤率

剰余価値率の利潤率への反映。
利潤率の凸凹 2 点問題である。

8.33. 中6巻 紡績工業 剰余価値率 69%.

8.28(上)

国内市場が小さく、[内田]、農産部門の構造の究明が 宇佐美氏に逆、
大内力氏の見解に同意。 200%以下 であるが、
これは結論に
おきかない。

日本資本主義の基本構造は国内市場の拡大に阻害され、
[宇佐美]

[内田氏の自己批判]

社会の生産と私的占有との矛盾が明らかになるという
決定的な誤謬である。

生産力論に於て
の叙述

大内氏と内田氏との区別が明らかでない

宇佐美氏に軍需産業が
I部門とII部門。
8.29(上)

8.34(上)

国内市場

資本と資本との関係は資本の投入
に別資本内の資本と労働との比率が提示されている。

大内氏 8.41 原始の蓄積関係の禁止、掃蕩。
労働力の増進と維持
労働力の価値以下への抑圧の阻止。] 当時の課題。 内田の再生産、
非工業

内田 階級論 [通りの要質] 内容が上から出てくるのか? 社会政策
労働力の価値と賃金の階級論が同じで可能!!

市場の理論、 現在の日本は 市場の理論が成り立たないのか? 2'の
原蓄過程、 2'の原始的蓄積である。 gewaltig 蓄積。 2'の上
原始的蓄積の時期は、 何時から? 内田氏に明治30年迄

強力な資本の
増殖と労働力
の削減の貢献。 (内田)

下請制、 競争の主体
逆転せしめられ、 — 労働力、 戦争の遺産
産業復興競争、 産業復興競争。 流動資本化
Boon.

生産力の危機である。 生産関係の危機があるという生産力の危機
である。

資本主義の二つの海 — 人民民主主義と結びつく資本主義の途、
組織された資本主義、本格的な Prussianism の途。
井上氏の論は zu optimistisch. 現在、2'の途を示す危険性が
増加している。

8.19. 回教(II) 出所、G.H.Q.
8.18. 回教(I) 太平洋戦争後の工業生産高の減少
と2'の事実として示す。 誤り、誤りである。

8.41. 戦争期間が長すぎ、 [8.15以来のことである] 教育面、 産業面、
相互の ① 自由主義の動き、 合理的な手段、 産業高度化。
② 絶対主義の動き、 非合理的な手段、 自工業
天罰に苛められること、 2'の途を示すこと、 必要である。 2'の途を示すこと、 必要である。

Kapital ④. 8.82. 林.

① 経済学は使用価値と交換価値の両方を扱ふ。使用価値の形成は自然の過程である。交換価値の形成は社会的な過程である。

「使用価値は自然の過程である。交換価値の形成は社会的な過程である。」

② 使用価値は、使用価値の明かきから、暗かきへの移行を伴ふ。使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

③ 使用価値は、共同の生産手段から、労働者個人間の生産手段へ移行する。使用価値は、共同の生産手段から、労働者個人間の生産手段へ移行する。

④ 使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

8.86-7. 使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

古典経済学の根本問題の一つは、使用価値と交換価値の形成である。

分析から、使用価値と交換価値の両方を扱ふ。使用価値の形成は自然の過程である。交換価値の形成は社会的な過程である。

大熊信行氏の論議は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

これは Marx 氏。使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

大熊信行 (No. 1059-1060)

安部隆一氏論議

安部氏の考え方は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

資本論から、安部氏のように見ると、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。 [V.K. 1910]

使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

使用価値

- ① 使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。
② 使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。使用価値は、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。

使用価値

第1巻第3章、第4章

労働過程

労働過程 → 使用価値の形成過程

協業、Manu. 大工業から、使用価値の形成から、使用価値の形成へ移行する。協業、分業、機械化の進歩を取り扱う。

生産力

[174]

社会政策は労働政策である。

従い、労働政策は社会政策ではない！

従って、社会政策 = 労働政策と見做す誤りである。

原簿過程における労働政策は社会政策であるか？

職工條例。

• Poor Law.

① workhouse.

Luddite. 19c. 初. 労働者の階級斗争である。

肉体の再生産、労働力の保全、労働力の価値の顕現等。

労働者階級の、下からの、階級斗争の力によって実現される。

労働条件の歴史、社会的に考察。

労働力の保全、というところ、内容の規定である。1770年代は労働者。

これら問題の形態である。

Kapital: fetischcharakter.

同一内容が二つ、或は別の形態おとる二つの分析の問題である。



社研

8/18

守屋典郎: 戦后経済の構造的变化
守屋典郎氏出席
報告者 服部文男

[服部報告]

戦后世界経済の安定は、P4カ国資本主義を中心として行われ、安定と安定との間に
向題がある、この安定は不可能である、といふこと、この安定は存在し得ない。
第二次大戦後の相対的安定期とは段階的に異なる。

一般の危機より深化した段階、

戦後の段階

戦后段階を歴史的に分析する

世界経済 景気特報 No.10
西沢氏執筆

Vargaの見解 景気循環理論

Mendelssohn 不均等理論

Mendelssohnのいうとき不均等より更に激しい不均等理論より、

超不均等 (このいふべき段階)

第二次大戦後の相対的安定期

資本主義の発展の基盤として

地球が資本主義から離れ、社会主義になる

① P4カ国、日本、中国の資本主義の発展、市場の深化

② 2071年、資本主義の発展、全世界に資本主義が普及する

戦后、技術の高度化

Food-system, Conveyor-system

階級社会の激化

↓
相対的安定

第二次大戦後

市場の深化: 一般に、非常に

① 戦后の人民民主主義の発展

独占資本の超過利潤の許容性、
市場の深化は極端な窮乏化である

旧大陸全体にわたる、東欧、中国、南洋

軍事機構、資本主義構造と不離

フランス 敗戦

ドイツ 敗戦

1941-1945

1945-1948

日本

U.S.A. 国内に於て

敗戦は資本主義の危機に瀕せしめる

下向

超不均等

下向 (Fodora)
上昇 (Fodora)

P4カ国、資本主義が非常に発展し、上向

従来の諸資本主義と並列関係

現在、P4カ国はP4カ国に匹敵するようになる

P4カ国は従来の並列を要図しなくなる

P4カ国資本主義の発展は、市場の深化による、恐慌の

戦中の生産力、戦后に於て用いられる

技術の発展

市場の発展は極力抑えらる

下向

下向

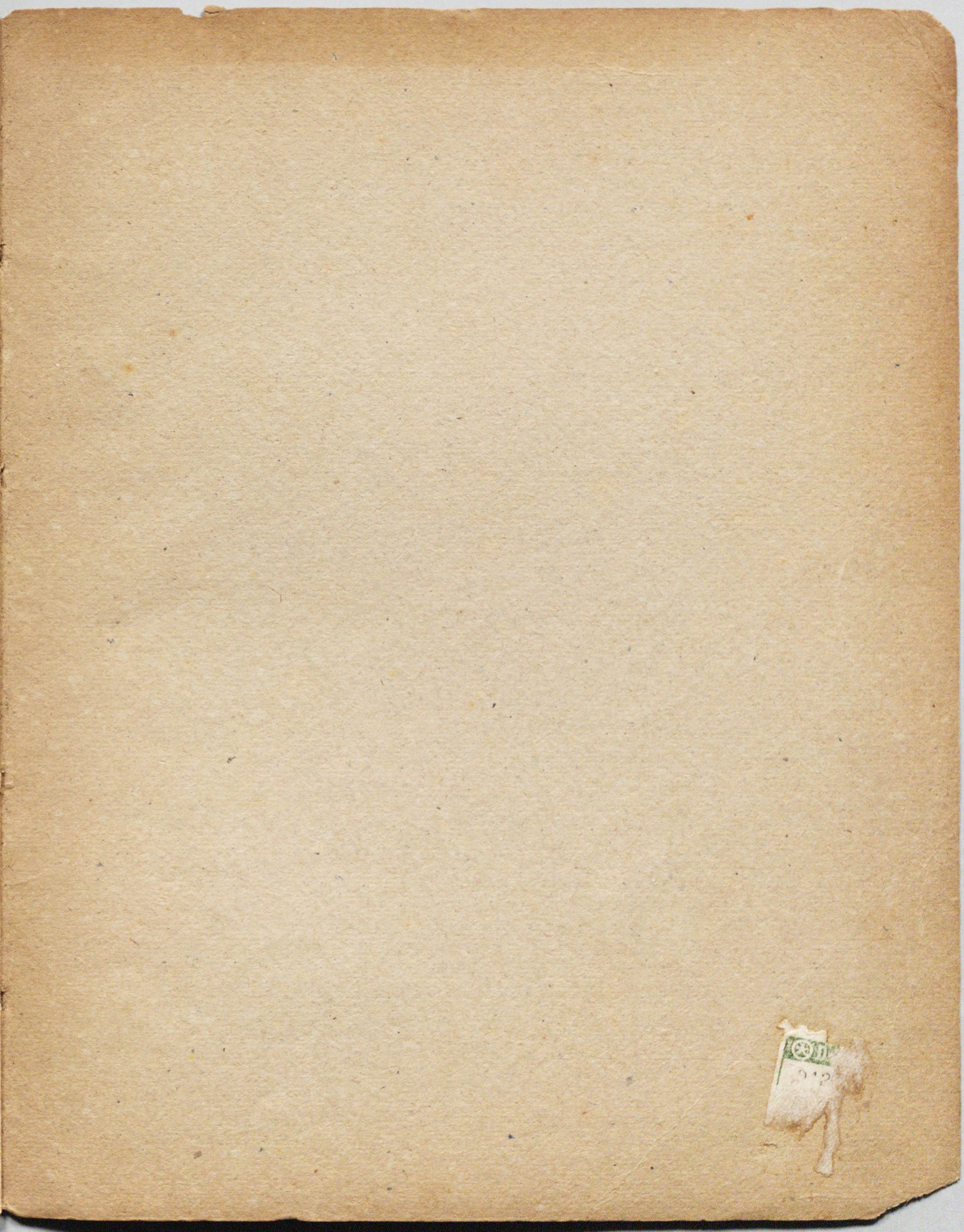
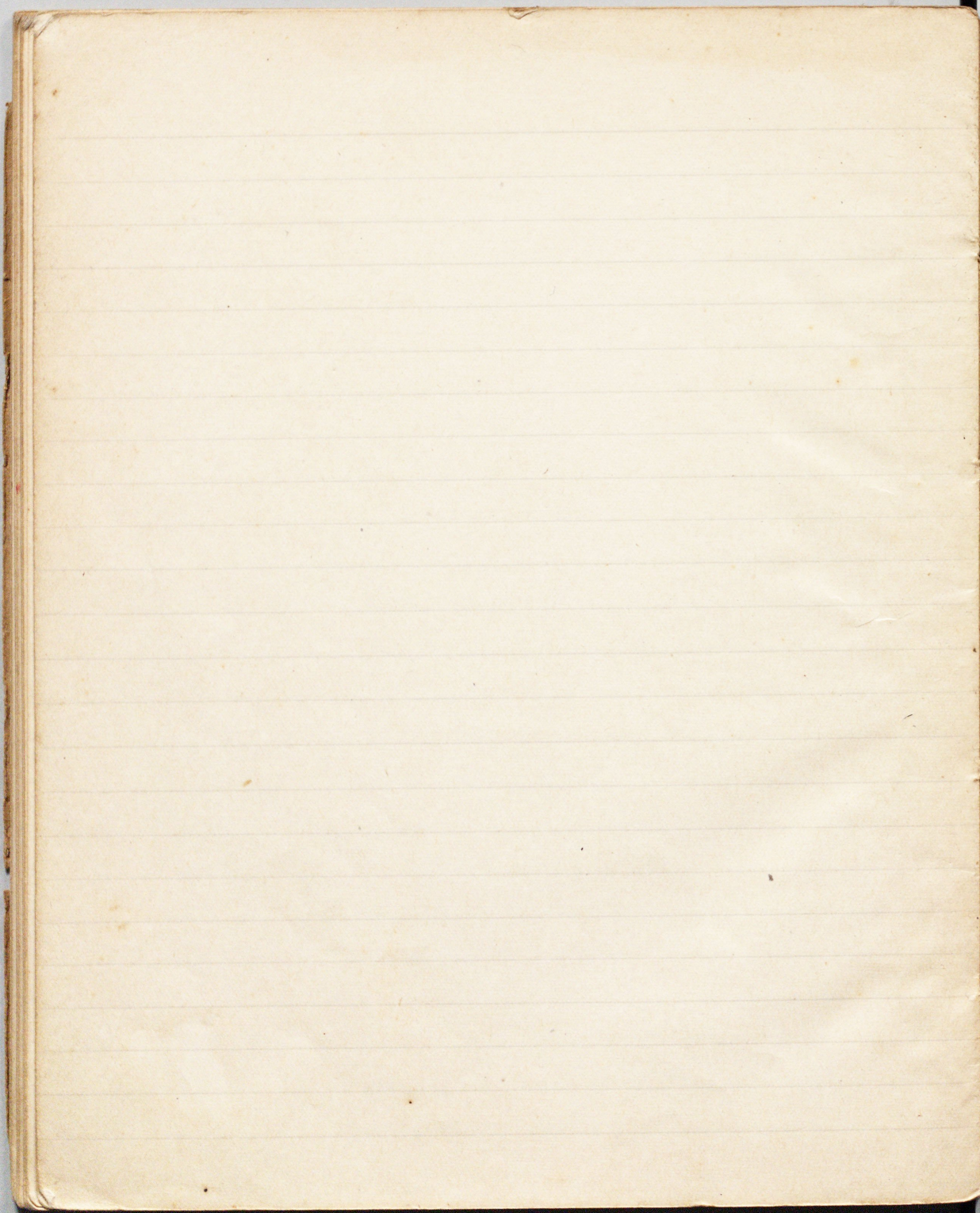
生産力に転化する

資本主義の下向は不可能である

資本主義の下向は原子力の原子爆弾

と見られる

資本主義の悲劇



O.N.H.

1047

